

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【480】
2. 日時：令和5年5月17日 10時00分～11時50分
3. 場所：原子力規制庁 9B会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術研究調査官、堀野技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他2名

電源事業本部 原子力耐震グループ 担当副長 他7名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設計技術グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 課長代理 他1名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（管の耐震性についての計算書（非常用ガス処理系配管）、屋外重要土木構築物等における機器・配管系に対する影響検討等）について、令和5年4月6日及び5月11日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部の耐震性についての計算書に係る補足説明資料】

- 配管貫通部の疲労評価について、設計・建設規格 PVB-3140「疲労解析不要の条件」が適用できるか、規格の解釈を含めて説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし